

医師国家試験対策教員向け講演会



塩澤先生

のでした。

琉大医学科では、H24年12月よりM5学生に対し「初の総合試験Ⅰ」を開始、その後M6学生に総合試験Ⅱ・Ⅲを開始しましたが、一茶先生からは『「(M5・M6の)総合試験」は功を奏している！しかし他の大学もやり始めているので、今後はこれをどう維持するか、また国家試験合格率も今年かなり上昇したので、次は“いかに総合試験をクリアし、三桁の人数の受験者で良い合格率を維持していくか”が課題である。10月以降をどう過ごすかも大切。』“一昔前の医師国家試験経験者”である私達の時とは、かなり異なる状況で現在の国家試験は行われており、詳細に分

平成26年6月9日18時30分より、琉球大学医学部医学科教員向けの上記講演会が開催されました。本講演会はMECの医師国家試験対策のエキスパート塩澤先生が（“Dr.一茶”）、琉大のために時間を作って下さったも

析することで様々な対策がとれること、逆に様々な対策をとらないと“医師国家試験合格率アップ”には繋がらないであろうと感じました。今回、第108回医師国家試験のポイントとして、1題1題の難易度を上げてきた。次回第109回のレベル・難易度は、108回とほぼ同等であろう。外科領域、病理写真もなかなかの難問だった。等々多くの情報を伺え、“医師国家試験”対策の重要性を重々感じる事ができました。

新しい話題がかなりあり、「一茶先生のこの講義は、情報がかなり更新され、毎年お聴きせねばならないな!」とひしと感じた次第です。

今後もさらに、琉球大学医学部医学科の国家試験合格率を上昇・維持するために、学生のみならず大学、教員、指導医、皆で取り組むべき課題が様々みえてきた講演会でした。。。

塩澤先生、どうもありがとうございました。

by. 五期生；医学科同窓会副会長

琉球大学医学部 医学教育企画室

屋良さとみ

